令和３年度　飛鳥資料館冬期特別展「飛鳥の考古学2021」

飛鳥・藤原地域では長びくコロナ禍の中でも継続的な発掘調査がおこなわれ、新たな発見や成果が蓄積されています。

飛鳥地域の発掘調査では、三段築成の八角墳である中尾山古墳が注目されます。また、飛鳥京跡苑池では北池の具体的な様相があきらかになりました。そのほか島庄遺跡、大官大寺南方遺跡の調査速報や、近年分析を進めている石神遺跡の土器を展示します。藤原京域に目を向けると、藤原宮大極殿院では、大極殿院東面回廊の規模や構造が確定すると同時に、前期難波宮との共通性や違いが浮き彫りになりました。藤原京左京八条三坊や慈明寺遺跡（藤原京右京四・五条八・九坊）では、藤原京期の遺構に加え、弥生時代の遺構もみつかっています。また、2022年３月、斉明天皇との関連性が指摘される牽牛子塚（けんごしづか）古墳の整備が完了し、築造当時の八角墳の姿がよみがえります。これを記念して、牽牛子塚古墳にスポットを当ててご紹介します。

この冬は、ぜひ飛鳥の考古学をご堪能ください。　（飛鳥資料館　石田 由紀子）

会　　期：2022年１月21日（金）～３月13日（日）
開館時間：９：00～16：30（入館は16：00まで）／休館日：月曜日（２月６日（日）は無料入館日）
主　　催：独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館・奈良県立橿原考古学研究所・明日香村教育委員会
後　　援：文化庁、近畿日本鉄道株式会社
ホームページ：https://www.nabunken.go.jp/asuka/　お問合せ：☎ 0744-54-3561

平城宮跡資料館 令和３年度 冬期企画展「発掘された平城2020・2021」

興福寺境内の調査区全景（北西から）

奈良文化財研究所では、平城宮・京跡の発掘調査を継続しておこなっています。その調査成果を皆さまにお届けするために「発掘された平城2020・2021」と題して、2019年度・2020年度におこなった発掘調査成果をご紹介する展示を開催いたします。

今回は、2019年度におこなった調査のうち、平城宮東方官衙地区・第一次大極殿院東方、平城京左京二条二坊十一坪の調査を、2020年度におこなった調査のうち、興福寺境内の調査成果を出土資料と写真パネル等でご紹介します。

また、発掘調査成果のほかに、平城宮出土の竹尺や３次元モデルを活用した平城宮出土唐花文鬼瓦の復元等の最新の調査成果もご紹介します。

この機会に、当研究所の最新の研究に触れていただければ幸いです。

（企画調整部　藤田 友香里）

会期：2022年２月11日（金・祝）～３月27日（日）
開館時間：９：00～16：30（入館は16：00まで）／休館日：月曜日（休日の場合は翌平日）
ホームページ：https://www.nabunken.go.jp/heijo/museum/
お問合せ：☎ 0742-30-6753（連携推進課）

■　お知らせ

藤原宮跡資料室　ロビー展示

10月１日（金）～３月31日（木）　（予定）
「2020年飛鳥・藤原地区発掘調査速報展」

■　記　録

文化財担当者研修

○遺跡調査技術課程	９月27日～10月１日	10名
○保存科学（木製遺物）課程	10月11日～10月19日	10名
○遺跡GIS課程	11月15日～11月19日	30名
○文化財写真課程	11月22日～12月３日	８名

平城宮跡資料館 秋期特別展

10月９日（土）～11月７日（日）　6,606名
「地下の正倉院展－木簡を科学するⅡ－」

現地見学会

○飛鳥藤原第208次調査（藤原宮大極殿院）
10月２日（土）　619名
○平城第640次調査（興福寺東金堂院の門と回廊）
10月９日（土）　949名

第13回東京講演会

10月23日（土）13：00～16：00
於：有楽町朝日ホール　会場参加　135名
ライブ配信参加　358名

第127回公開講演会

11月13日（土）13：30～16：00
於：平城宮跡資料館講堂　84名

編集　「奈文研ニュース」編集委員会
発行　奈良文化財研究所　https://www.nabunken.go.jp
Ｅメール　koho_nabunken@nich.go.jp
発行年月　2021年12月